

大泉

いのししどし

校長 佐々木 秀之

あけまして
おめでとう
ございます。



早いもので、「平成」となつてから31年目を迎えました。今年の五月には新しい元号に変わります。今年の干支は「亥」で、小学校では平成19年（2007年）に生まれた子供たちが年男、年女ということになります。干支の中で12番目にあたる「亥」は、一年でいう12月にあたります。「亥」という字は「とぎす」という意味で、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していると考えられます。中国では「亥」は「ブタ」を意

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



味しますが、中国から日本に干支が伝わった当時、日本では「ブタ」は馴染みがなかったため「猪」に変えたとされています。

*



猪の肉は、万病を予防するなどと言われています。すなわち、無病息災の象徴とされていますから、「勇気と無病息災」の意味があります。「無病息災」の他には、「田の神・作物の神」などの意味合いもあるそうです。

「猪」にまつわることわざや言葉
葉を思い浮かべると、「猪突猛進」「猪武者」「猪勇」「猪見て矢を引く」「猪も七代目には豕(いのこ)になる」「ししを食った報い」「馴染みでは猪の子も可愛い」「山より大きな猪は出ぬ」などありますが、私たちに馴染み深い言葉というところそれほど多くありません。

「猪」に抱くイメージは様々あります。古くから狩猟の対象とされてきた動物の一つですが、非常に神経質で警戒心の強い動物だそうですね。普段見慣れないものを見ると、それをできるだけ避けようとする習性があるといわれています。

*

「亥」の干支の特徴として、どんな困難があろうと、自分の意思を貫こうとする信念があり、こつこつと努力し、目標を達成する努力家であるといわれています。また、正義感が強く、弱い人がいれば助ける優しい心と、悪にも怯まない強さで周囲からは信頼できるリーダーとして頼られるそうです。

今年一年、大泉小に通う子どもたちが穏やかに、そして大きく成長できる年となるよう、教職員全員の英知を結集して努めてまいります。本年もみなさまのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1月の行事予定

7日(月)	冬季休業日終
8日(火)	三学期始業式 安全指導・点検
9日(水)	特別時程 4時間授業
10日(木)	特別時程 (6五) 給食始 委員会活動
11日(金)	身体計測 (5)
12日(土)	身体計測 (4)
13日(日)	社会科見学 (3)
14日(月)	土曜授業日 3時間授業 道徳授業地区公開講座 校内書初め展始
15日(火)	成人の日
16日(水)	身体計測 (3)
17日(木)	小泉牧場見学 (3)
18日(金)	特別時程 保護者会 (五)
19日(土)	身体計測 (1)
20日(日)	クラブ活動
21日(月)	小学校連合図工展始
22日(火)	小泉牧場予備日 (3)
23日(水)	特別時程
24日(木)	小学校連合図工展終 クラブ活動
25日(金)	社会科見学 (5)
26日(土)	社会科見学 (5)
27日(日)	連合書き初め展
28日(月)	租税教室 (6)
29日(火)	特別時程
30日(水)	クラブ活動
31日(木)	なわとび月間終 校内書初め展終 保護者会 (ことば)

※ 今月の避難訓練は、予告なしです。



6年生の様子

小学校生活も残すところ三か月となりました。振り返ると、一人一人のもつ頑張りやエネルギーに驚かされた二学期でした。

展覧会で観せた、豊かな発想や、それを形にする表現力。会場に姿はなくても、観ただけで一生命懸命さを感じさせる作品を作り上げる子供たちには感動させられました。

持久走旬間では、息の上がるペースでそれでもスピードを緩めない走りを、頼もしく見ていました。五年生の時には、つい手を抜いてしまう弱さが見られたのですが、一年越しの取組では気持ち強くもとうとする真剣さに大きな成長を感じました。

影ながらの活躍もしている子供たちです。わくわくタイム一週間前には、友達と声を掛け合い相談を始めます。委員会やクラブが近づく、休み時間にこつこつと計画や準備をしている姿があります。

毎朝の登校時刻には、下級生が先に校舎に入れるように、先を譲る優しい子供たちです。

取り組む様子に波があることや、考えていても行動に移しきれていないところなど課題はまだあります。ですが、一人一人のよさを大切に、子供たちが気持ちのよい卒業を迎えられるよう、最後の学期を前に背筋が伸びる思いでいます。

(比護 明日香)

練馬区連合図工展

一月十九日(土)～二十四日(木)
 (開館午前10時～閉館午後六時※最終日は十二時で閉館) (休館日二十三日(月))の期間、中村橋にある練馬区立美術館2階展示室において練馬区小学校連合図工展が開催されます。『子供の表現の生まれるところ』感性を育む図工』をテーマに、区内全小学校の児童作品が広い展示会場にとりこせましと展示されます。多様な表現のよさや違いを楽しむことができる練馬区連合図工展には是非足を運んで頂ければと思います。

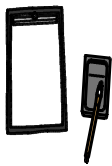
(河村泰正)

書き初め展

本校では、一月十二日(土)から校内き初め展を行います。

一、二年生は硬筆、三年生以上は毛筆に取り組みます。作品は、教室の前の廊下に掲示しますので、是非ご来校の際にご鑑賞いただき、子供たちに励ましの言葉をかけていただけましたら幸いです。

また、一月二十六日(土)、二十七日(日)には、練馬区立美術館二階にて練馬区小中連合書き初め展が行われます。本校からも、各学年の代表児童の作品が展示されます。是非、お出かけください。



(山中 麻衣)

一年生の様子

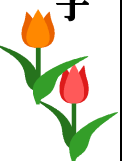
十一月の末に、上校庭の花壇にチューリップの球根を二つずつ植えた一年生。

「そういえば、入学した頃、ここにチューリップが咲いていたなあ。」と口々に懐かしく思い出す子供たち。あれから間もなく一年。

運動会の頃は、まだまだ幼さの残る子供たちでしたが、展覧会に向けて集中して作品作りをしたり、保育園の子たちを迎えて交流会をしたり、初めてのロング集会に参加したりするうちに、いつの間にかたくましさや身に付いていて、物事に主体的に取り組むようになっていました。

それをまざまざと感じたのは、持久走をする姿でした。持久走旬間の初日、担任たちの心配をよそに、まるで前からやっていったように、みんなが勢いよく走り出しました。ペーシングは様々でしたが、みんなが最後まで頑張ろうとしていました。これまでのいろいろな経験や、周囲からの励まし、先輩たちから学んだことなどが積み重なってきていることが目に見えてわかり、とても嬉しくなりました。

新年が明け、いよいよ進級の時を迎えようとしています。一年間のまとめをしながら、これからも積み重ねを大事にして、一日一日を大切に過ごしていけるよう、意欲付けていきたいと思えます。どうぞ引き続き、一年生を温かく励ましてくださいますよう、お願いいたします。



(林 志織)

《1月の生活目標》

「ことばづかいに 気をつけましょう」

新年を新たな気持ちでお過ごしのことと思えます。

今月は「ことばづかいに気をつけましょう」を目標に、各クラスで取り組んでいきます。

本校では、言われた時に気持ちよく温かくなる言葉を「ホカホカ言葉」、逆に言われたときにいやな気持ちになる言葉を「イガイガ言葉」として、日常的に意識づけるように指導しています。各教室には、『大泉小10のルール』の一つとして掲示してあります。

言葉はその表現の仕方によって人を勇気づけたり、幸せな気持ちにしてくれたりします。逆に、何気ない一言で人を悲しませたり、傷つけたりします。

「言葉は身の文(あや)」ということわざがあるように、話す言葉はその人の人格や品位までも表します。「ホカホカ言葉」をたくさん使うことで皆が気持ちよく過ごせる環境ができてきます。学校だけでなくご家庭でも「ホカホカ言葉」をたくさん使うよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



(藤澤 照子)

